

11月9日(日)

令和8年度
学士入学・一般編入学試験問題

文学部 哲学科

専 門 科 目

— 注意事項 —

- 1 問題は1ページ、解答用紙は1枚である。
- 2 解答はすべて別紙解答用紙に横書きで記入すること。
- 3 試験時間は60分である。

T11D・Y11D

このページには問題はありません。

問1 次のA、Bいずれかを選び、500～600字で論じなさい。

A デカルトを初めとする近代の哲学者たちは、他人の意見を無批判に受け入れてしまうのではなく、情報の正しさを自分で一から検討し、判断することができるという意味で「知的に自律した」人間を理想像として掲げた。しかし、さまざまな知識が専門分化し、大量の情報が流通する現代社会においては、そのような意味での「知的な自律性」を求めるのは望むべくもないことである。私たちは他者に依存することなくさまざまな知識を得ることはできない。しかしその一方で、現代社会にはフェイク情報があふれていて、それを信じることにより実害が生じている。このような現代社会では、近代の哲学者たちが説いたものとは異なる意味での「知的な自律性」が求められるように思われる。そのような知的な自律性として求められるのは、どのようなもの（能力、姿勢、性格特性など）だと考えられるか。あなたの見解を理由とともに述べなさい。

B ある地域・文化圏と別の地域・文化圏のあいだで、芸術家が旅行・移住したり、芸術作品が移動したりすることがある。その結果、諸芸術（文学、美術、音楽、舞台芸術など）が、同じ芸術ジャンルのあいだで、あるいは異なる芸術ジャンルのあいだで、様々な影響し合うという現象が生じる。芸術の歴史の中からあなたが思いつく実際の例をひとつ挙げて、どのような影響関係が生じたかを具体的に説明しなさい。

問2 次の項目のうち、2つを選び、それぞれ120～200字で説明しなさい。

- (1) (ヒュームにおける) 因果
- (2) 社会契約
- (3) (仏教思想における) 縁起
- (4) 宗教画
- (5) ロマン主義
- (6) 浮世絵版画

